無線LAN AirStation 導入事例

株式会社　ナミカワ

無線LAN&サイボウズを武器に ISO品質管理の効率化を狙う

今回、ご紹介するのは三重県四日市市で総合印刷業を営まれている株式会社ナミカワ様(従業員数は約30人)です。ナミカワ様で取り扱っておられるのは、取扱説明書、パンフレット、リーフレットなどで、原稿データ管理から印刷、製本、商品管理までを行っています。

お話を伺った並河英幸専務取締役

有線LANは配線が煩わしい

「当社では5年前の1997年頃に、有線LANを導入しました。主な用途はインターネット、電子メールなどです」と今回、お話を伺った並河英幸専務取締役が無線LAN導入までの経緯をご説明くださいました。「有線LANを設置してから問題に気付きました。それは配線です。当社では年に2～3回、社内スペースの有効活用のため、レイアウトの変更を行っています。現在稼動しているPCは50～60台。総務部では主にノートPCを、制作部ではデスクトップをメインに使用していますが、机の移動の度にLANケーブルも移動しなければならず、非常に手間でした」そんな不満を抱えていたとき、無線LAN(AirStation)の活用を思いつかれたそうです。

無線LANで配置換えが容易に

印刷機への電波干渉はほぼ問題なし

並河専務は無線LAN導入に際して、心配事がありました。それは「無線LANの電波が印刷機器に影響を及ぼさないか」ということでした。「やはり、印刷会社ですからそのへんのことには、神経質になりました」。しかしこれは杞憂に終わりました。2000年1月、制作部に試験的に導入したアクセスポイント(WLAR-L11)と子機は快調そのもので、印刷機器への影響はほとんど見られませんでした(ただし、生産機器については有線LANで使用中)。また、「電波がとぎれる」ことも心配されていたそうですが、「これもまったく問題なかった」とのこと。(BUFFALOより:無線LANの電波による医療機器やその他の機器への障害は、これまで発生しておりません)。こうしたテスト導入を経て、現在、アクセスポイントが2台、子機が11枚という規模で無線LANをご使用いただいています。また、同時に無線プリントサーバAirP'sも活用しておられます。「AirP'sとプリンタを台車に乗せて、どこでも移動した先で、プリントアウトできる環境が整いました。会議室などに持ち込むことも多く、大変便利に使っています」。

会議室でも印刷できる

株式会社ナミカワ様　無線LAN設置数

	アクセスポイント設置数	カード枚数
2001年9月現在	2台	11枚

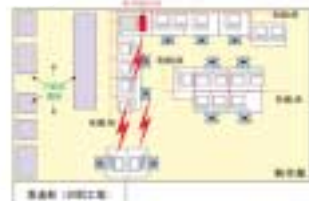
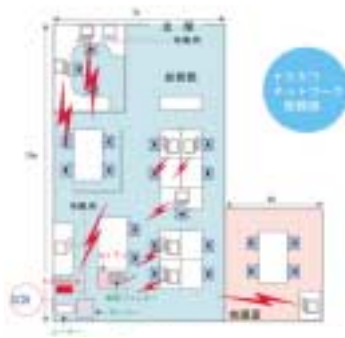
※総務部ではAirP'sも1台使用

総務部のアクセスポイント

制作部のアクセスポイント

Air P'sとプリンター

いつでも必要な情報にアクセス可能

導入から1年半が過ぎ、BUFFALO無線LANの使い心地についてお話くださいました。「なんと言っても手軽な点」をまず挙げていただきました。「ちょっと制作部に行くときでも、会議をするときでもノートPCさえ携帯しておけば、インターネットや電子メールなどにアクセスできる。自分の欲しいデータ、情報が手軽に手に入る点がいいです」。

生産性向上をサイボウズに託す

無線LANにより快適な環境を手に入れた同社では、今度はグループでの生産性向上を目指すべく、サイボウズ社のOFFICE4を2001年3月に導入しました。この製品はWebからアクセスして利用できることが特徴のグループウェアで、誰もが簡単に操作できる使い安さが評判。(詳細は、こちら http://www.cybozu.co.jp/)「無線LANは、個人がHP閲覧やeメールなどをどこでも見ることができる利便性をもたらしてくれました。サイボウズOFFICE4を導入することで会社内で共有すべき情報(スケジュール管理や掲示板など)を誰もが、いつでも、どこでも見ることができる環境が整いました」。並河専務は無線LANとOFFICE4のマッチングに多大な期待を寄せておられるようで、今後の展開について語っていただきました。

サイボウズで社内情報を共有

株式会社ナミカワ様　サーバ、PC使用機種およびソフト

使用PC	ソニー(バイオ)、シャープ(メビウス)、コンパック、NEC、ゲートウェイ、マッキントッシュ等
使用サーバ	コンパック(プロライアント)等
使用OS	Windows95、98、2000、マックOS等
使用ソフト	オフィス2000、サイボウズオフィス4、IE5.5、DTPソフト、ERPソフト等

ISOファイルを「文章管理」

「当社は1998年にISO9002、最近になってISO14001を取得しました。ISOでは管理文書が多く、9002だけでも管理すべき文書は30ファイルにも上ります。現在、帳票フォームなどをサイボウズOFFICE4で管理していますが、これに無線LANも駆使して、さらにうまく整理したい」。ISOは国際標準化機構(International Organization for Standardization)の略で、世界共通の規格・基準を制定している民間の組織。ISO9000シリーズは品質管理に関する世界標準で、14000シリーズは環境に関する世界標準です。どちらも業務プロセスについて、明確な手順とそれらが実行される際の記録、文書化を要求するもので、作業の一工程が終了するごとに責任者の捺印が必要になります。「ISOによって品質が改善されたことは事実です。しかしそれに伴う文書の管理は非常に煩雑であることも事実。この文書管理を無線LANとOFFICE4を使って楽なものにしていきたい」ISO関連文書、帳票データ等を、サイボウズOFFICE4で管理し煩雑な改訂作業の効率化を図りたい、と思案されている旨のお話を頂きました。そうしたシステムを作り上げるために、社内の無線LANシステムを充実させることをナミカワ様ではまずは考えられています。具体的には、まだ無線化していない商品管理部にも設置する構想をお持ちのようです。「ISO関連の文書管理をするまえに、そのステップとして、事務部門の無線化を推進していく予定です」と並河専務。

無線LAN+サイボウズはベスト

お話の最後に、並河専務からは印刷業界の現状について、お話をいただきました。「印刷産業は現在、印刷業務面ではDTP、社内業務面ではERPと、IT機器の利用が急速に浸透してきています。今後も更に情報化が加速するだろう競争環境の中で生き残るには、お客様や仕入先様、社員間での仕事を共有する関係者間とのスピーディーなやりとりを可能にする社内の情報化整備がかかせません。BUFFALOの無線LAN(AirStation)とサイボウズのOFFICE4は情報化を手軽に促進できるうってつけのツールです。印刷業務にも十分な効果を発揮する無線LANで、効率的な経営をさらに進めていきたいですね」。